

名証二部、東証JASDAQ

証券コード：2185

# CMC GROUP

株式会社シイエム・シイ

2021年9月期 第2四半期連結決算説明

## 業績報告

### 業績分析

- ・技術マニュアル制作は計画通り受注、一方、各種教育イベントのオンライン化により受注金額が減少。
- ・営業利益は、以下の要因により、2020年11月11日公表の業績予想比で増加。
  - ① ICT活用による原価低減効果の継続
  - ② 取扱説明書など、印刷案件の需要増加。
- ・為替差益および補助金収入など営業外利益が増加。

単位:百万円

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比	業績予想(※)比
売上高	8,868	<b>7,670</b>	▲13.5%	▲10.0%
売上総利益	2,902	<b>2,789</b>	▲3.9%	
販売管理費	2,107	<b>2,066</b>	▲1.9%	
営業利益	795	<b>723</b>	▲9.1%	+26.4%
(営業利益率)	(9.0%)	<b>(9.4%)</b>	<b>(+0.4%)</b>	
経常利益	817	<b>825</b>	+1.0%	+28.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	537	<b>546</b>	+1.7%	+25.1%
EPS	76.38円	<b>79.21円</b>	+2.83円	

※2020年11月11日の決算短信で公表

2

はじめに、連結業績については以下の通り。

売上高において、技術マニュアル制作は計画通りの受注となるが、各種教育イベント等については、お客様企業における投資抑制による、オンライン化が継続し、前期比、予想比ともに減収。

営業利益は、ICT活用による原価低減効果の継続に加え、取扱説明書などの印刷案件が増加したことにより、当初予想比で増益。

経常利益は、為替差益や補助金収入により、当初予想比で増益。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益については前期比、予想比ともに増益となり、1株当たりの四半期純利益は前期比2円83銭増の79円21銭。

## 貸借対照表

単位:百万円

資産の部	2020年9月末	2021年3月末	差額
流動資産	13,696	<b>13,414</b>	<b>▲282</b>
（内、現金及び預金）	9,386	<b>9,333</b>	<b>▲52</b>
固定資産	5,991	<b>5,862</b>	<b>▲128</b>
<b>資産合計</b>	19,687	<b>19,277</b>	<b>▲410</b>
負債及び純資産の部	2020年9月末	2021年3月末	差額
流動負債	2,618	<b>2,478</b>	<b>▲140</b>
固定負債	1,650	<b>1,590</b>	<b>▲59</b>
負債合計	4,268	<b>4,069</b>	<b>▲199</b>
株主資本	14,920	<b>14,669</b>	<b>▲251</b>
その他	498	<b>538</b>	<b>+40</b>
純資産合計	15,419	<b>15,208</b>	<b>▲211</b>
<b>負債純資産合計</b>	19,687	<b>19,277</b>	<b>▲410</b>

3

貸借対照表については、以下の通り。

流動資産の減少は主に売掛金の減少によるもの。  
 固定資産の減少は主にソフトウェア等の減価償却によるもの。  
 純資産は、自己株式の取得により、前期末比約2億円減少。

## 業績見通し

2021年9月期 通期業績は前期比で **増収、増益** を予想しております。

なお、2020年11月11日に公表した予想からの変更はございません。

単位:百万円

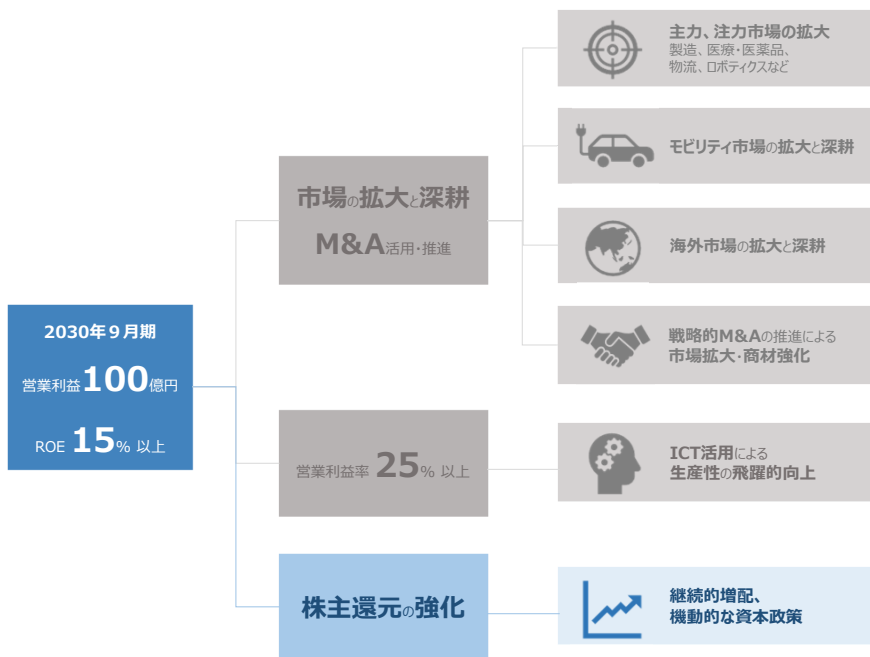
	2020年9月期 (実績)	2021年9月期(予想)	前期比
売上高	17,071	<b>20,189</b>	<b>+18.3%</b>
営業利益	1,818	<b>2,276</b>	<b>+25.2%</b>
経常利益	1,827	<b>2,320</b>	<b>+27.0%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,354	<b>1,590</b>	<b>+17.4%</b>
1株当たり当期純利益	193.27円	<b>228.88円</b>	

4

業績見通しについては以下の通り。

2021年9月期の通期予想については、2020年11月11日に公表した予想から変更なし。  
前期比増収増益の、売上高201億円、営業利益22億76百万円、  
親会社株主に帰属する当期純利益15億9千万円を見込む。

## 成長戦略に向けた取り組み -資本政策-



## 成長戦略に向けた取り組み -資本政策-

株主還元の充実と資本効率の向上を図るとともに、  
経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため



### 自己株式の取得

#### ①2021年2月16日実施済み

取得株式数 200,000株 取得価額の総額 480,000,000円

#### ②2021年5月17日～7月30日で取得予定

取得し得る株式の総数 120,000 株 (上限)

株式の取得価額の総額 300,000,000 円 (上限)

取得期間 2021年5月17日～2021年7月30日

取得方法 信託方式による市場買付



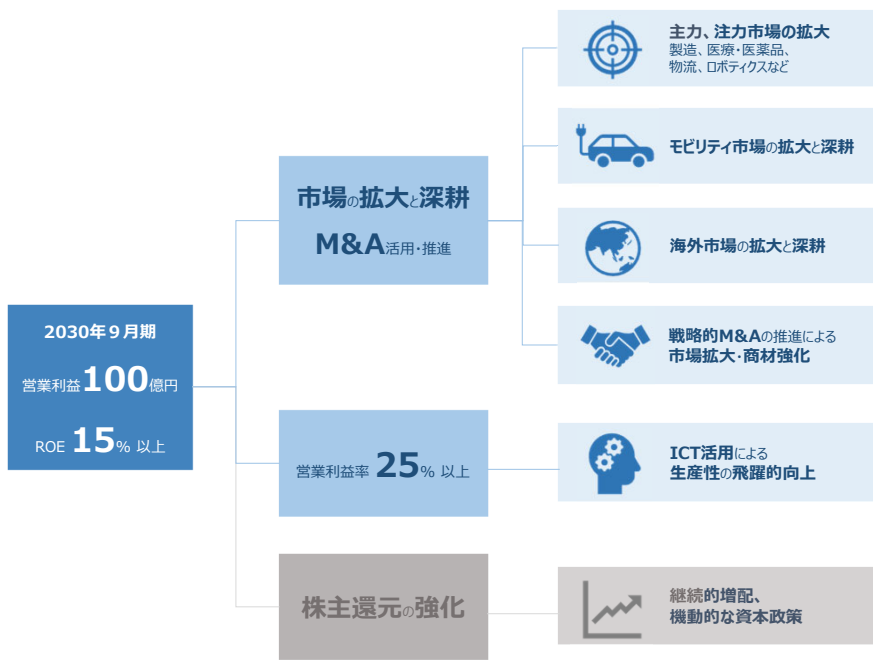
継続的増配、  
機動的な資本政策

株主還元の充実と資本効率の向上を図るため、以下の通り、自己株式の取得を実施。

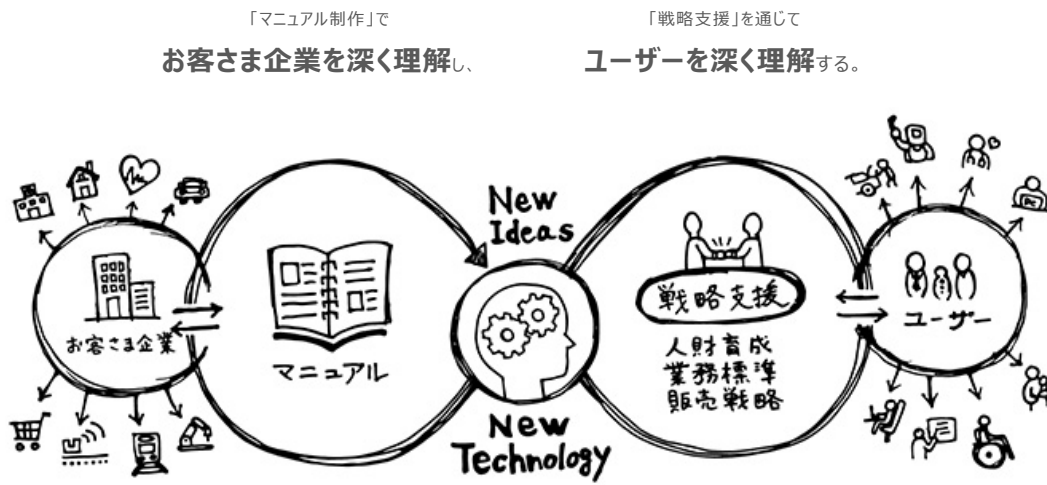
すでに、2021年2月には、20万株、総額4億8千万円の取得を完了。

あらたに、2021年5月17日より取得金額上限3億円の自己株式取得を信託方式による市場買付を通じて実施。

# 成長戦略に向けた取り組み -事業戦略-



## ビジネスモデル戦略



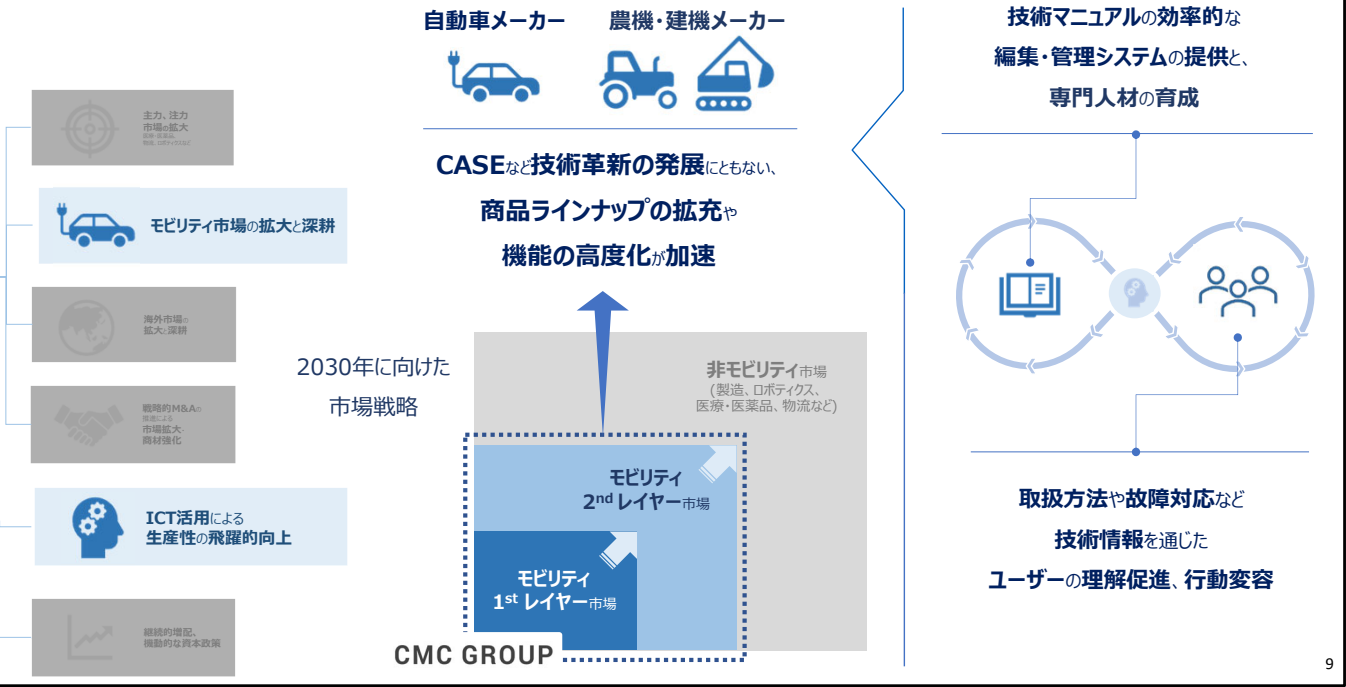
8

## ビジネスモデル戦略

マニュアル制作で培ったノウハウを活用し、業務標準・人材育成・販売戦略など「戦略支援」を通じて、お客さま企業を全面的にサポートし、行動変容に導くこと。



成長戦略に向けた取り組み -事業戦略-



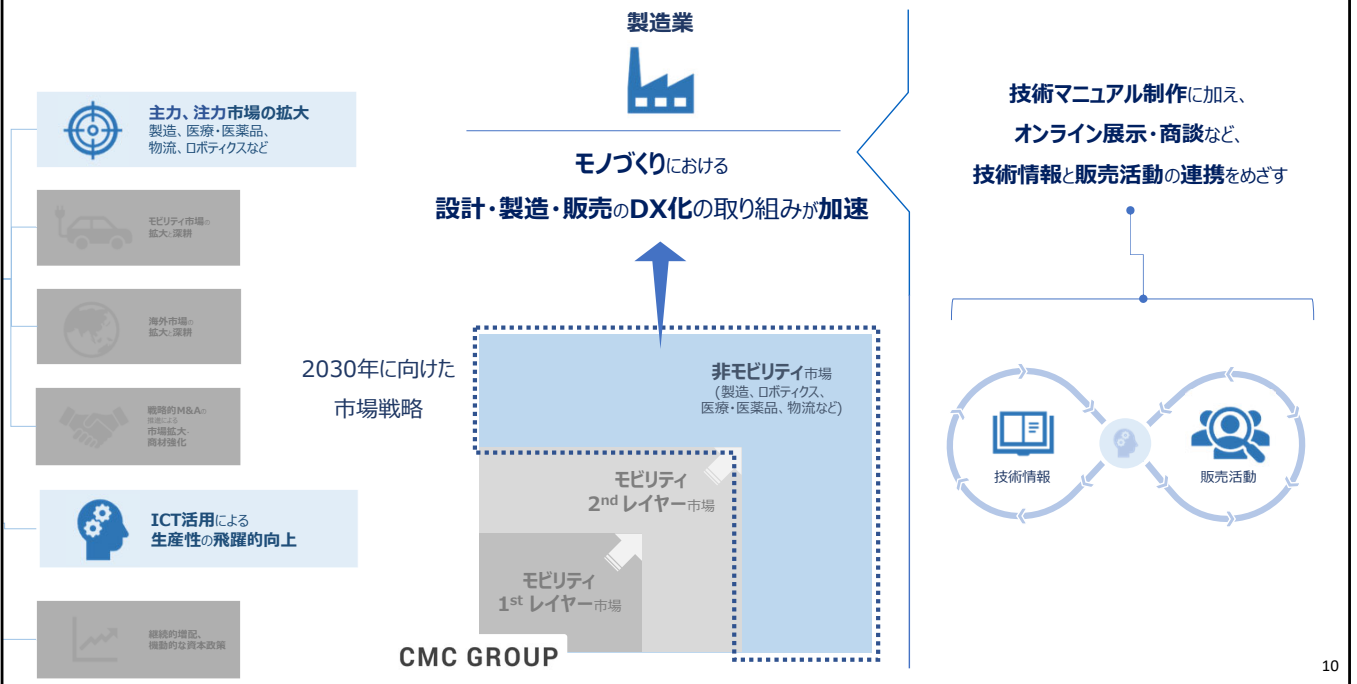
当第2四半期では成長戦略のなかでも特に、市場戦略を重点的に推進。

主力市場であるモビリティ市場では、CASEなど技術革新の発展にともない、商品ラインナップの拡充や機能の高度化が加速。

自動車メーカーでは、それらにともない、技術マニュアルの需要が引き続き増加しており、その需要にこたえるべく、技術情報の効率的な編集・管理システムの提供を進める。今後は、さらなる専門人材の育成にも取り組む。

また、農機・建機メーカーでも同様の活動を進め、商品の取扱方法や故障対応など、技術情報を通じたユーザーの理解促進、行動変容を進める。

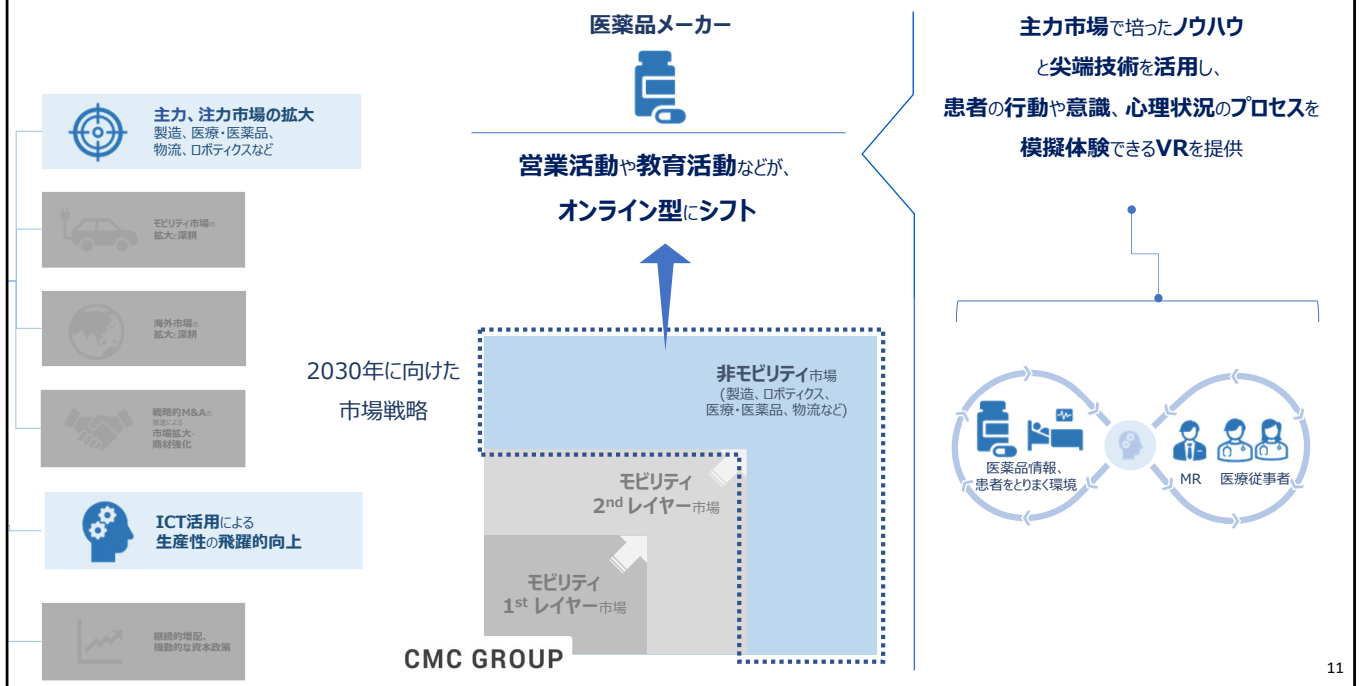
成長戦略に向けた取り組み -事業戦略-



次に、製造業においては、お客様企業における設計・製造・販売のDX化の取り組みが加速。

技術マニュアルに加え、商品情報を伝達するためのオンラインによる展示や商談に取り組み、技術情報と販売活動の連携をめざす。

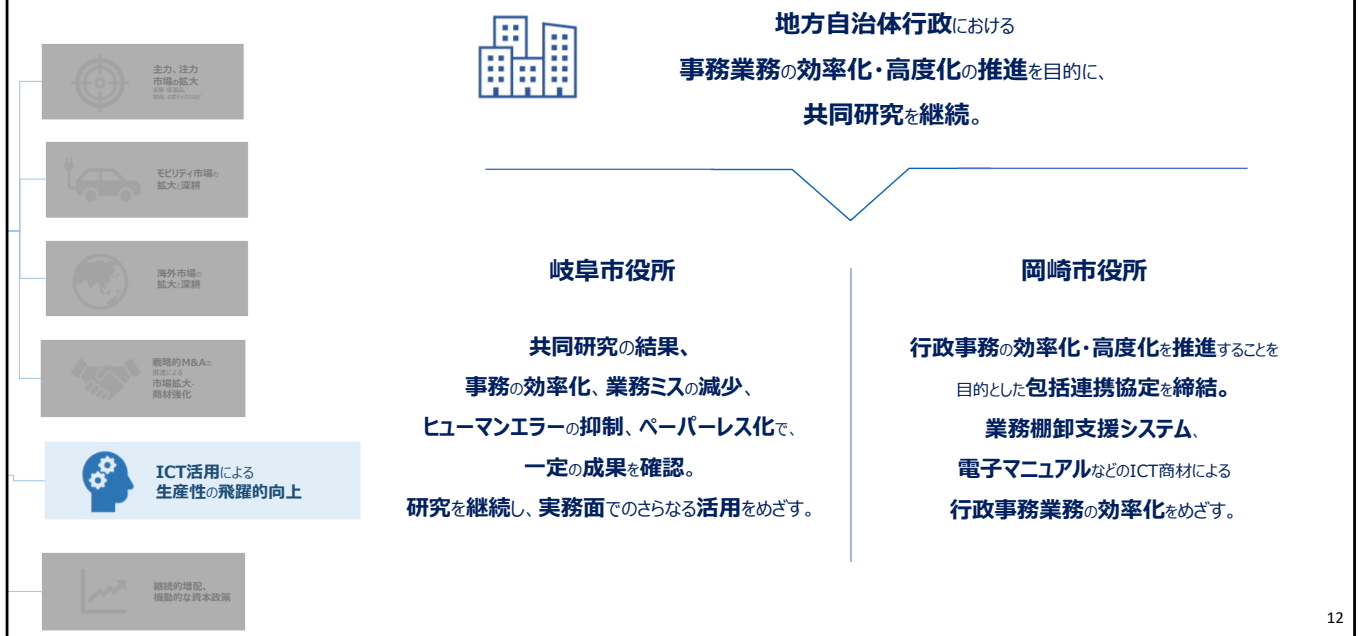
成長戦略に向けた取り組み -事業戦略-



注力市場である医療・医薬品市場においては、医薬品メーカーにおいて、営業活動や教育活動などが、従来の訪問・対面型からオンライン型にシフト。

当社グループがこれまで主力市場で培ったノウハウと先端技術を活用し、医薬品メーカー向け、患者様の行動や意識、心理状況のプロセスを模擬体験できるVRを提供。医療・医薬品に携わる方々へ、さらなる理解促進、行動変容を進める。

## 成長戦略に向けた取り組み -自治体との共同研究-



12

当社グループは地方自治体における業務の効率化・高度化の推進を目的に、共同研究を継続。

岐阜市役所との共同研究では、業務効率化や品質向上、ペーパーレス化の取り組みによる成果を確認。今後も研究を継続し、実務面でのさらなる活用をめざす。

また、愛知県 岡崎市役所でも同様の活動を通じ、当社グループが有する業務棚卸支援システム、電子マニュアルなど、ICT商材による業務のさらなる効率化をめざす。

## 成長戦略に向けた取り組み -組織戦略-



社会環境の変化に対応し、新しい働き方を推進。

従業員の心と体の健康管理に取り組み、



健康経営優良法人2021に新たに認定。

当社グループでは、社会環境の変化に対応し、リモートワークなど新しい働き方を推進。

また、並行して、従業員の健康管理に取り組み、このたび、健康経営優良法人2021に認定。引き続き、モチベーション高く楽しく働ける職場づくりに取り組む。

# ビジネスモデル

## Who we are



時代の変化に対応し、  
変わり続ける

0 個 創業時から続く  
商材の数



一流企業に鍛え上げられた  
品質と信頼性

約 60 年 大手自動車会社との  
取引年数



仲間づくりと  
グループ総力の結集

約 5 倍 グループ3社  
M&A前後の  
営業利益増加



圧倒的なナレッジと経験を持つ  
マニュアル業界最大手

約 50 % 大手自動車会社における  
技術マニュアルの  
当社シェア



最尖端ICT技術の  
開発・活用

約 25 % グループ全従業員  
ICT人財比率



利益・配当の  
継続成長

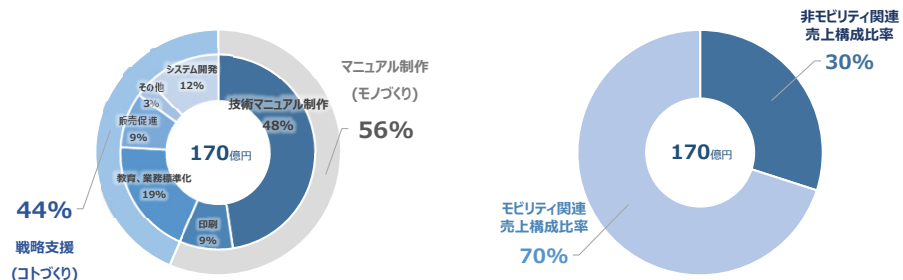
4 期連続 直近期の  
増配継続

当社グループの特徴を6つの数値で表現。

1. 創業時から続く商材数：0個
2. 大手自動車メーカーとの取引年数：約60年
3. M&A後のグループ会社の営業利益：約5倍
4. 大手自動車メーカーにおける技術マニュアルのシェア：約50%
5. グループ全社員のICT人財比率：約25%
6. 4期連続の増配

経営概況 (2020年9月期末時点)

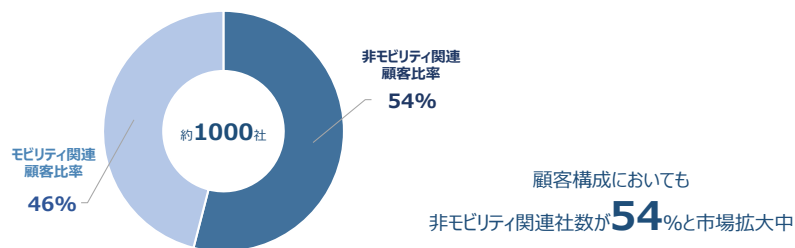
売上構成 |



マニュアル制作 (モノづくり) を基盤としつつ、  
戦略支援 (コトづくり) が全体の **44%**まで成長

モビリティ関連を深耕しつつ、  
非モビリティ関連が**30%**まで拡大

顧客構成 |



顧客構成においても  
非モビリティ関連社数が**54%**と市場拡大中

商材別 売上高構成 「マニュアル制作」 (モノづくり) を基盤としつつ、  
「戦略支援」 (コトづくり) が全体の44%に拡大。

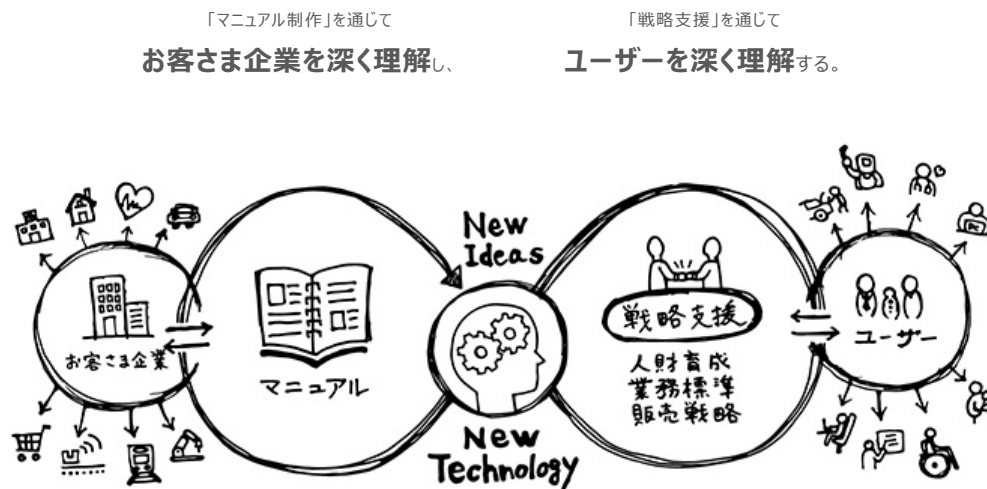
顧客別 売上高構成 モビリティ関連を深耕しつつ、非モビリティ関連が30%に拡大。

顧客構成 非モビリティ関連社数が54%に拡大。





## ビジネスモデル戦略



18

当社グループの考える「マニュアル制作」とは、技術情報・お客さま情報・製品知識・現場でのカンコツなど、お客さまを深く理解すること。

このマニュアル制作で培ったノウハウを活用し、人材教育・業務標準・販売戦略など「戦略支援」を通じて、お客さま企業を全面的にサポートするビジネスモデル。

このサイクルを回し続けることで、持続的な需要と高い参入障壁が生まれ、独自のエコシステムを構築することが、CMCグループのめざすビジネスモデル戦略。

# CMC GROUP

2021年9月期 第3四半期累計期間の決算発表は、  
8月10日（火）を予定しております。

## 參考資料

## 参考資料 経営指標

連結損益計算書	単位	18年9月期通期	19年9月期通期	20年9月期通期	21年9月期 予想(※1)
売上高	百万円	18,114	19,251	17,071	20,189
売上総利益	百万円	6,204	7,106	5,998	-
営業利益	百万円	2,001	2,246	1,818	2,276
経常利益	百万円	2,076	2,248	1,827	2,320
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	1,322	1,314	1,354	1,590
売上総利益率	%	34.2	36.9	35.1	-
営業利益率	%	11.0	11.7	10.7	11.3
経常利益率	%	11.5	11.7	10.7	11.5
当期純利益率(※)	%	7.3	6.8	7.9	7.9

※ 当期純利益率 = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 売上高

その他の指標	単位	18年9月期通期	19年9月期通期	20年9月期通期	21年9月期 予想(※1)
BPS(1株当たり純資産額)	円	1,868.3	2,026.9	2,206.6	2,435.5
EPS(1株当たり当期純利益)	円	188.7	188.7	193.3	228.9
ROE	%	10.5	9.7	9.2	9.9
ROA	%	12.2	12.4	9.5	11.3
PER	倍	13.3	10.7	10.1	8.5
配当性向	%	19.1	21.2	25.9	21.8
従業員数	名	969	1,001	972	972

※1 2021年9月期の予想の数値において、連結損益計算書及び配当は21年9月期通期予想、それ以外は20年9月末実績とそれに基づく予想値をもとに算出してあります。

参考資料 企業プロフィール

▶社名	株式会社 シイエム・シイ
▶事業	マーケティング活動支援 / I C T 戦略支援
▶設立	1962年 5月
▶住所	名古屋市中区平和 1 - 1 - 19
▶代表者	代表取締役社長 佐々 幸恭
▶資本金	6億5,761万円
▶従業員数	435名 (単体) / 944名 (連結)
▶グループ会社・拠点	20社 (国内10社、海外10社) 32拠点 (国内17拠点、海外15拠点)

※2021年3月31現在

参考資料 海外拠点

North America

アメリカ



CMC PRODUCTIONS USA INC.

Europe

ポーランド



Maruboshi Central & Eastern Europe Sp. zo.o.

オランダ



Maruboshi Europe B.V.

フランス



Maruboshi France S.A.R.L.

Asia

中国



広州国超森茂森信息科技有限公司  
広州市丸星資訊科技有限公司  
北京国超森茂森網絡科技有限公司

台湾



台湾丸星資訊科技股份有限公司

タイ



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.  
Maruboshi (Thailand) Co., Ltd.

シンガポール



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.

海外

8ヶ国 15拠点

## 参考資料 将来の見通しについて

この資料は、株式会社シイエム・シイ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は、投資家の皆さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

お問い合わせ先  
株式会社シイエム・シイ 経営企画部 IR担当 052-322-3386  
IRサイト <https://www.cmc.co.jp/ir/>